

## 普及活動情勢報告（平成31年1月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### ナシの剪定講習会を開催しました～いの町マルイ果実部～



熱心に聞き入る若手生産者

1月10日いの町のマルイ果実部の生産者15名が、ナシの剪定講習会を開催しました。

農業改良普及課からは、「新高」の剪定技術の講習に加え、近年、県内で問題になっている「フタモンマダラメイガ」の対策についても説明し、剪定のついでに粗皮はぎによる物理的防除も行うよう指導しました。

今回は、若手生産者が3名参加し、剪定技術を習得しようとする積極的な姿勢が伺えました。農業改良普及課では、今後も剪定講習などの若手への栽培技術の伝承に力を入れていきます。

### 集落営農組織がいよいよ法人化！ ～農事組合法人上東設立総会～



池田牧子いの町長が出席し、祝辞を述べました

1月11日、いの町吾北地区にある集落営農組織「上東地区営農組合」が「農事組合法人上東」の設立総会を開催しました。

農業改良普及課は、これまで法人化に向けた定款や規約の作成支援を行っていました。総会当日は19名の組合員といの町長を含めた関係機関が出席。提案された議案は全て承認を受け、代表からは、法人となって地域のつながりを強化していきたいと言っていました。

農業改良普及課は、登記に向けた書類作成を支援し、法人後の組織運営や簿記記帳を支援していきます。

### 生産者GAPの定着にむけて ～JA高知県土佐市支所ニラ部会の点検活動～



点検シートに記入中のニラ部会員

1月17日、JA土佐市支所ニラ部会は、生産者GAP点検シートの点検を行いました。自分の点検活動により、振り返り、反省、経営改善等に結びつけることができることが理解されました。

今回は、試行的な取組でしたが、次年度以降は部会開催時に、定期的に点検活動を実施していくことになりました。

農業改良普及課では今後とも関係機関と連携し、ニラ部会での生産者GAPの定着を進めていきます。

### 生産者が作る文旦ゼリー（果汁40%）できました！！ ～6次産業化支援チーム会の開催～



今後の展開はいかに？

1月22日、日土佐文旦産直協議会の3名が6次産業化アドバイザー2名と、今後の文旦ゼリーの販売方法について話し合いました。新しくできたラベルとチラシを示しながら、次の展開についてネット販売や決裁の仕方等、これまでのやり方とは違う展開方法について話し合いました。

メンバーからは次年度も市の事業を活用し、販路拡大に向け販売方法を変えていこうと話し合いました。

農業改良普及課は、今後も関係機関やアドバイザーと連携し支援していきます。